

2023 年度 第 2 回 脱炭素コンクリート技術研究協議会(S 協議会)

議事録(案)

議事録担当: 坂本(広島工業大学)

- 日時:2024 年 1 月 16 日(火), 13:30~15:00
- 場所:近未来コンクリート研究会会議室, Zoom ミーティング
(広島市中区東千田町 2-3-26 福德技研株式会社 3F)
- 出席者:19 名(別紙 1 参照)

■S 協議会議事録

1. 前回議事録の確認

2023 年度第 1 回 S 協議会(2023/10/3)の議事録確認を行った。

2. 情報共有:大林組技術研究所の見学会

2023 年 10 月 12 日に開催された大林組技術研究所の見学会の報告を行った。当日の主な内容は以下のとおりである。

- ・技術研究所の主な取組みの紹介
- ・3D プリンター実証棟「3dpod」の解説・見学
- ・各施設(テクノステーション, オープンラボ 2)の解説・見学
- ・コンクリート技術の紹介

3. 情報共有:FA 少量使用一般化の提案のための実験 Step2 の実験計画【砂田様】

2024 年 3 月 13 日(水)に広島工業大学・3 号館材料実験室で実施予定の実験計画について説明が行われた。前回協議会からの変更点は以下のとおりである。

- ・空気量による圧縮強度の補正のため, 空気量を 1%大きくした配合を追加する。
→全 9 配合で実験を行う。
- ・耐久性試験として塩化物イオンの試験もできると良い。
→広工大での実施は技術的に難しいので, 今回は土木学会式を用いて配合条件から拡散係数を算出することとなった。

4. 話題提供:JIS 改正について【砂田様】

JIS A 5308 の改正があり, 本協議会に関連する項目は以下のとおりである。

- ・スラッジの固形分が 3%→6%に見直された。
- ・材料の累加計量が可能となった。(9.2.1 計量方法 e)
→大臣認定が不要となり, 建築分野での混和材使用の一般化が期待される。
→袋投入は従来から可能であった。

5. 話題提供:カーボンリサイクル材料を用いたポーラスコンクリートに関する一検討

CO₂を吸収・固定したCCU(Carbon dioxide Capture and Utilization)粉体を結合材に用いたポーラスコンクリートの実験結果について話題提供が行われた。

6. その他

・次回は2024年3月15日(金)の13:00からを予定

以上

1/16 脱炭素コンクリート技術研究協議会(S協議会)参加者名簿

番号	所属組織(団体)	参加者(敬称略)
1	近未来コンクリート研究会 代表	十河 茂幸
2	広島地区生コンクリート協同組合共同試験場	城國 省二
3	株式会社まるせ	砂田 栄治
4	NEXCOエンジニアリング中国	久保 隆
5	NEXCOエンジニアリング中国	山本 雅行
6	一般社団法人日本建設業連合会 中国支部	田村 吉広
7	バルチップ株式会社	森宗 義和
8	萩森興産株式会社	中富 宜紀
9	(一社)広島県土木協会	甲斐 英樹
10	(一社)広島県土木協会	吉村 崇
11	(一社)広島県土木協会	奈良原 友貴
12	福井県丹南土木事務所 総務課	坂田 正宏
13	前橋工科大学 客員教授	君島 健之
14	日鉄高炉セメント株式会社	平本 真也
15	福留開発株式会社	横田 昭彦
16	極東興和株式会社	三原
17	株式会社エム・アール・シー	佐々木 竜治
18	株式会社フローリック	檜垣 誠
19	広島工業大学 S協議会主査	坂本 英輔